



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcm1-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)齊藤 正視 TEL 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,808	1.0	302	—	367	—	329	—
23年3月期第3四半期	12,677	△10.2	△287	—	△243	—	△302	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 288百万円(—%) 23年3月期第3四半期 △344百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	9.87	—
23年3月期第3四半期	△9.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,364	7,664	27.0
23年3月期	29,266	7,227	24.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,664百万円 23年3月期 7,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	1.0	350	—	400	—	400	—	11.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。）

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	34,294,400株	23年3月期	34,294,400株
24年3月期3Q	901,308株	23年3月期	898,809株
24年3月期3Q	33,394,199株	23年3月期3Q	33,398,136株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている連結業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動や個人消費に緩やかながら持ち直しの動きが見られたものの、欧州の債務危機による海外景気の下振れリスクを抱え、円高の長期化やタイ国における洪水被害の影響を受けるなど、不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く建設業界におきましては、被災地では震災の復旧工事が一部で始まったものの、本格的な復興事業の発注が遅れる一方、他地域では、公共投資や民間設備投資の凍結や着工延期の動きがでるなど、総じて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループでは東日本大震災の津波により被災した仙台ヤードを早期に再稼働させ、被災地での緊急復旧工事への鋼材供給に対応してまいりました。また、工場拠点の集約化など、前期末に公表しました原価や販管費の削減を中心とした経営合理化策の実施により、収益基盤の強化を図るとともに、採算管理の徹底と賃貸価格の適正化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高128億8百万円（前年同四半期比1億3千1百万円、1.0%増）、営業利益3億2百万円（同5億8千9百万円増）、経常利益3億6千7百万円（同6億1千1百万円増）、四半期純利益3億2千9百万円（同6億3千2百万円増）と増収増益になりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

前期と同様に需要と価格の低迷が続きましたが、売上高は104億6千4百万円（前年同四半期比3億4千6百万円、3.4%増）となり、売上原価及び販管費の削減を中心とした経営合理化策の実施により、セグメント利益は7億6千1百万円（同6億5千3百万円増）となり、増収増益になりました。

②重仮設工事事業

受注工事案件の小口化により、売上高は14億1百万円（同6千9百万円、4.7%減）となり、一部工事の原価増によりセグメント損失は6千9百万円（同3千3百万円の損失増）となりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

前期と同様に厳しい受注環境が続き、売上高は9億4千2百万円（同1億4千5百万円、13.4%減）と減収になりましたが、原価低減に努めた結果、セグメント利益は2千2百万円（同1千万円、97.7%増）と増益になりました。

（注）セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と必要な調整を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少額5億4百万円などにより、前期末比9億2百万円減の283億6千4百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の増加額4億5千4百万円、短期借入金の減少額15億7千5百万円などにより、前期末比13億4千万円減の206億9千9百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益3億2千9百万円の計上などにより、前期末比4億3千7百万円増の76億6千4百万円となり、自己資本比率は2.3ポイント増の27.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成23年10月28日公表の平成24年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,326	1,045
受取手形及び売掛金	7,427	6,922
建設機材	8,592	8,553
商品	16	19
材料貯蔵品	329	301
未成工事支出金	185	181
その他	177	141
貸倒引当金	△113	△110
流動資産合計	17,941	17,056
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,105	8,105
その他(純額)	1,237	1,183
有形固定資産合計	9,343	9,288
無形固定資産		
その他	14	7
無形固定資産合計	14	7
投資その他の資産		
その他	2,439	2,400
貸倒引当金	△471	△388
投資その他の資産合計	1,967	2,012
固定資産合計	11,325	11,307
資産合計	29,266	28,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,334	5,789
短期借入金	10,683	9,108
未払法人税等	5	26
引当金	219	61
その他	1,055	1,115
流動負債合計	17,298	16,100
固定負債		
長期借入金	3,111	3,128
引当金	314	290
その他	1,315	1,179
固定負債合計	4,741	4,598
負債合計	22,039	20,699
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	2,275	2,597
自己株式	△124	△124
株主資本合計	5,727	6,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	△35
土地再評価差額金	1,672	1,830
為替換算調整勘定	△144	△178
その他の包括利益累計額合計	1,500	1,616
純資産合計	7,227	7,664
負債純資産合計	29,266	28,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,677	12,808
売上原価	11,243	11,013
売上総利益	1,433	1,795
販売費及び一般管理費		
役員報酬	107	102
給料手当及び賞与	799	689
福利厚生費	166	147
地代家賃	153	142
退職給付費用	63	50
その他	430	362
販売費及び一般管理費合計	1,720	1,493
営業利益又は営業損失(△)	△287	302
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	126	133
貸倒引当金戻入額	—	6
その他	34	28
営業外収益合計	170	176
営業外費用		
支払利息	108	93
その他	18	17
営業外費用合計	126	111
経常利益又は経常損失(△)	△243	367
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	8	0
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
固定資産除却損	3	—
訴訟損失引当金繰入額	—	12
特別損失合計	3	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△239	356
法人税、住民税及び事業税	20	24
法人税等還付税額	—	△47
法人税等調整額	43	49
法人税等合計	63	26
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△302	329
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△302	329

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△302	329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△33
その他の包括利益合計	△41	△41
四半期包括利益	△344	288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△344	288
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水道 施設工事等	計	
売上高					
外部顧客への売上高	10,118	1,470	1,088	12,677	12,677
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,118	1,470	1,088	12,677	12,677
セグメント利益又は損失(△)	107	△35	11	83	83

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	83
全社費用(注)	△370
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△287

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水道 施設工事等	計	
売上高					
外部顧客への売上高	10,464	1,401	942	12,808	12,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,464	1,401	942	12,808	12,808
セグメント利益又は損失(△)	761	△69	22	714	714

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	714
全社費用(注)	△412
四半期連結損益計算書の営業利益	302

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。